

科目名 (科目番号)	基礎看護技術Ⅳ (診療に伴う援助技術)	教員名	宮下真理子 北島元治 他	学科等	看護	必修	履修年次	2
	曜日・時限等			時間割表参照	単位数	2		
	授業形態			演習	オフィスアワー	水曜 昼休み		
授業概要	看護の役割のひとつに、さまざまな健康状態にある対象者の健康状態の診断・治療など、診療に関わる過程での援助がある。これら診療に伴う看護技術は生命の危機に直結すること多いため、看護の役割、責任を認識し、正確・確実な技術を習得することが極めて重要である。ここでは放射線や薬理学などの基礎的知識をふまえて、感染予防、診察・検査、薬物療法、呼吸・循環、創傷管理に関わる看護技術を学習する。さらに、シナリオを用いたシミュレーション演習を取り入れ実践する力を養う。							
目的・目標	目的:看護の役割を理解し、様々な健康状態にある対象の診断・治療に必要な援助が性格・安全・安楽に提供できる基礎的な看護技術を習得する。 目標:①検査時に必要な援助技術と看護の役割が理解できる。②薬物療法および輸血療法にかかわる看護技術が実施できる。③呼吸・循環を正常に維持するための安全で効果的な援助技術を実施できる。④創傷の治癒過程、創傷の治癒を妨げる要因と促進させる援助技術を理解できる。⑤シミュレーションを通して看護援助に対する自己の課題が明確にできる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	診療に伴う援助技術とは 看護における安全管理	到達目標:診療に伴う援助技術と医療安全について理解できる。 学習内容:看護・医療場面で起こる事故とその原因、安全管理について学習する。					
	2	記録・報告	到達目標:記録・報告の目的・方法・留意事項について理解できる。 学習内容:看護記録の定義・管理・種類および報告の目的・方法について学習する。					
	3	感染予防の技術(1)	到達目標:感染予防に必要な基本技術を実施できる。 学習内容:滅菌物の取り扱い・ガウンテクニック・滅菌手袋の着脱、医療廃棄物の取り扱いを学習する。					
	4	感染予防の技術(2)						
	5	〔演習〕無菌操作	到達目標:感染予防に必要な基本技術を実施できる。 学習内容:滅菌物の取り扱い・ガウンテクニック・滅菌手袋の着脱を学習する。					
	6							
	7	〔演習〕導尿	到達目標:対象者の尊厳を守りながら導尿の援助が実施できる。 学習内容:導尿の方法について学習する。					
	8	〔演習〕浣腸	到達目標:対象者の尊厳を守りながら浣腸の援助が実施できる。 学習内容:浣腸の方法について学習する。					
	9	診察・検査に関わる看護技術(1)	到達目標:患者が安全・安楽に検査を受けるために必要な援助技術と看護の役割を理解できる。 学習内容:診察・検査の目的、検体検査の援助方法について学習する。					
	10	診察・検査に関わる看護技術(2)	到達目標:患者が安全・安楽に検査を受けるために必要な援助技術と看護の役割を理解できる。 学習内容:生体検査の援助方法について学習する。					
	11	診察・検査に関わる看護技術(3)	到達目標:患者が安全・安楽に検査を受けるために必要な援助技術と看護の役割を理解できる。 学習内容:穿刺液の検査、胃洗浄の援助方法について学習する。					
	12	〔演習〕静脈血採血の方法	到達目標:静脈内採血の方法を理解し実施できる。 学習内容:シミュレーターを用いて静脈内採血の技術を学習する。					
	13							
	14	薬物療法に関わる看護技術(1)	到達目標:薬物に伴う法的責任を理解し、看護の役割を理解できる。 学習内容:医薬品医療機器等法、薬物の体内動態、薬物を安全適切に与薬する方法を学習する。					
	15	薬物療法に関わる看護技術(2)	到達目標:薬物療法の目的と意義を理解し、安全で適切な適切な与薬を実施するための留意点を理解できる。 学習内容:経口・口腔内・直腸与薬などの援助方法と看護の役割を学習する。注射に関する基本的事項と留意点について学習する。					
	16	輸血療法と看護	到達目標:輸血療法の目的・適応を理解し患者が安全に輸血を受けるための援助方法と看護の役割を理解できる。 学習内容:輸血の種類、輸血の副作用の原因と対策、輸血時の援助方法について学習する。					
	17	〔演習〕筋肉内注射法	到達目標:筋肉内の注射法を理解し、6Rの原則をふまえて実施できる。 学習内容:シミュレーターを用いて筋肉内の注射法を学習する。					
18								

	19	〔演習〕点滴静脈内注射法	到達目標:点滴静脈内の注射法を理解し、6Rの原則をふまえて実施できる。 学習内容:シミュレーターを用いて点滴静脈内注射法を学習する。	
	20			
	21	技術確認	到達目標:与薬の援助技術が正確・安全に実施できる。 学習目標:筋肉内注射の与薬方法を確認する。	
	22	技術確認		
	23	呼吸・循環に関わる援助技術(1)	到達目標:呼吸・循環を正常に維持するための安全で効果的な援助技術を理解できる。 学習内容:安楽な呼吸法、体位ドレーナージ、酸素療法、吸入・吸引、電法に関する技術を学習する。	
	24	呼吸・循環に関わる援助技術(2)		
	25	〔演習〕吸入・吸引・酸素療法	到達目標:吸入・吸引、酸素療法の援助技術を理解し安全・安楽に実施できる。 学習内容:シミュレーターおよび患者役割を通して酸素療法、吸入・吸引を学習する。	
	26	創傷管理 〔演習〕包帯法	到達目標:創傷の治癒過程、創傷治癒を妨げる要因と促進させる援助技術を理解できる。 :創傷の処置を理解し実施できる 学習内容:創傷の種類、創傷の治癒過程、創傷の処置について学習する。 :ドレッシング法、包帯法を学習する。	
	27			
	28	シミュレーション演習(1)	到達目標:提示されたシナリオについて理解し課題を検討できる。 学習内容:提示されたシナリオをグループで検討・確認する。	
29	シミュレーション演習(2)	到達目標:シミュレーションを通して看護援助に対する自己の課題が明確にできる。 学習内容:シナリオに基づいたシミュレーションの実施と振り返りを行う。		
30	シミュレーション演習(3)			
成績評価の方法・基準		①課題20% ②技術試験30% ③筆記試験50%(筆記試験は60%以上の得点があること)(対面・オンライン共通)		
教科書		新体系看護学全書12基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ 看護技術プラクティス 第4版	深井喜代子編 竹尾恵子(監修)小澤美恵子(編)池田真理(編)	メヂカルフレンド社 Gakken
参考図書		新訂版, 看護技術講義・演習ノート上下巻 看護技術が見えるVol.1基礎看護技術 第1版	山口瑞穂子編 医療情報科学研究所	サイオ出版, 2018 メデックメディア, 2017
教員からのメッセージ		演習は小グループで実施しますので技術の根拠を考えながら主体的に学んで下さい。また、技術の習得にはセルフトレーニングが必要です。セルフトレーニングを行うことで看護技術を身につけていきましょう。課題はコメントを付して返却します。臨床経験豊富な看護師資格を持つ教員が担当します。		